

平成30年度 第2回学校評議員会 記録

平成31年2月26日(火)

15:20~16:50

場所:盛岡二高 応接室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校評議員 5名

学校職員 9名

○日程 14:30 受付 13:40 授業参観 14:45 評議員会 (~16:45)

(1) 開会のことば

【進行:副校長】

14:44~

(2) 校長挨拶 【校長】

14:45~

日頃から、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。今日の評議員会では、今年度ここまでの学校の取組状況について、学校評価の結果も踏まえながら、皆様からご意見いただきたい。学校評価の結果では、教員の自己評価が生徒や保護者の評価に比べ高くなっている。学校を改善するためには、教員の視点とはまったく別の視点が重要である。

本日いただいたご意見やご提言は、来年度の学校運営計画の策定に生かして参りたいと思う。忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

*自己紹介(学校職員・学校評議員)

(3) 平成30年度学校概況説明

ア 運営方針について(資料:平成30年度盛岡第二高等学校経営計画)

【校長】

14:49~

着任して強く感じていることが2つある。

一つは、二高は非常にいい学校だということ。生徒は素直で頑張り屋、目標をもって高校生活を送り、様々な活動を通して、日々成長していく。卒業後は、将来の夢に向かって、ほとんどの生徒が上級学校に進学する。様々な分野で、きっと必要とされる人になっているだろうと想像できる。もう一つは、二高が多くの人に愛され、地域に期待されている学校だということ。それが「伝統の力」と思う。その伝統を礎に、さらに魅力ある学校にしていきたい。

そのために、来年度、取り組んでみたいことが一つある。それは、「二高生に身につけさせたい力」を意識した指導をすることである。高校生に身につけさせたい力は様々ある。どんな力に焦点を当てるかまだ決まっていない。全職員で「考え」を出し合い、絞り込んでいきたい。授業や部活動、学校行事など、すべての教育活動において、意識した指導をすることが、「二高らしさ」が生まれ、二高の新たな魅力づくりにつながるのではないかと考えている。

~14:52

各課取組状況について

(総務課)【総務主任】

14:53～

- 1 庶務・行事等の諸活動を円滑に運営する
 - ・適切な人員配置、保護者や地域の方々の協力で円滑に進んだ。
 - ・三者面談時にラウンジで学校紹介を行った。
 - ・来年度の学校へ行こう週間は、11月の1回とする。地域の方へ回覧板でお知らせしているが周知方法を検討する。
- 2 PTA（白梅振興会）活動の活性化を図る
 - ・理事会、各委員会ともにまとまりのある活動ができた。
 - ・PTA総会の参加者が106名と少なかった。次年度は休日開催を検討。
 - ・各会計は適正な繰り越し金額となった。今後見直しを予定している。
- 3 130周年に向け、資料を整備する
 - ・同窓会名簿の整備を行い会員の把握がなされた。
 - ・資料整備を行う。
- 4 教職員の良好な環境作りに努める
 - ・仕事が偏らないよう協力し業務に当たる。
 - ・適正な業務分担、心の連携に努める。
- 5 同窓会との連携促進に努める
 - ・同窓会総会、各行事への協力。
 - ・在校生や新卒生との橋渡し。縦のつながりの手伝い。
 - ・会報発行の援助。

～14:58

(教務課)【教務主任】

14:59～

- 1 生徒の学力向上
 - ・授業開始と終了時間の切り替えの徹底と教室内の美化を推進した。
 - ・授業態度は概ね良好であるが、課題の取組が不十分な生徒が一部見られる。
 - ・学習状況調査等の分析を行い、全職員で共有した。
 - ・学習時間が減少傾向にあり、スマホ・TVの時間が長い。
 - ・考查結果を部顧問へ配布、学習支援の推進を行っている。
 - ・来年度より授業時程を変更する。50分、7コマ授業(水曜のみ6コマ)。
- 2 教員の指導力向上
 - ・すべての教員が、年に2回授業公開を行っている。
 - ・各教科で年間指導計画の見直しと指導内容や指導方法の改善を図った。
 - ・受験や模試に対応できる実力の養成を推進したが実践力の養成に課題がある。各課と連携し課題改善に取り組む。

～15:02

(生徒指導課)【生徒指導主事】

15:03～

- 1 生徒規律の確立
 - ・毎月の整容指導、服装点検、入学時の礼法指導を実施、今後も継続的に行う。
 - ・携帯電話使用違反が増加。情報モラルや使用ルールの確認の徹底。

- ・他の問題行動はほとんどないが、ネット等への書き込みに注意が必要。
 - ・いじめ予防アンケートを年4回実施。いじめはほとんどない。
- 2 生徒会活動・部活動の活性化
 - ・全国大会出場（なぎなた、箏曲、美術、書道、囲碁将棋、文学研究）
 - ・活発に活動しているが、運動部の生徒が減少。
 - ・体育祭、合唱コンクール、文化祭など主体性を生かす指導。
 - ・応援歌練習の内容と方法を検討、欠席者が減少した。
 - 3 安全指導の徹底
 - ・街頭指導、自転車点検と自転車通学者への安全指導。
 - ・自転車事故の微増(6件)

～15:09

(進路指導課)【進路指導主事】

15:10～

- 1 進路意識の涵養
 - ・進路ガイダンス、卒業生を囲む会、進路講演会等実施。社会人講話は来年度も継続したい。
 - ・現1年生から大学入試制度が変更になる。その対策が必要である。
- 2 推薦入試指導の充実
 - ・全職員による個別指導を実施。次年度も継続。
 - ・推薦、AO入試で115名合格。岩大10、県大8は県内最多。
- 3 一般入試指導の充実
 - ・模擬試験、課外講座の実施。
 - ・個に応じた二次指導の実施。
 - ・センター試験の全員受験、全員課外の見直しを検討。
- 4 進路情報の提供・発信
 - ・PTA進路学習会の開催日の検討。2年生の進路学習会が、土日開催にしたことで今年度も参加が70%。
 - ・進路の手引きは、新入試対策が必要。
 - ・進路通信の発行(現在第12号)。

～15:16

(保健厚生課)【保健主事】

15:17～

- 1 健康管理及び保健指導の徹底
 - ・健康教室、歯科保健講話、薬物乱用防止講座、救急救命法講習を実施。来年度エピペン講習を予定。
 - ・検診後の結果報告、治療勧告書の配布増。
 - ・保健室利用性の減少。
 - ・「いわての防災スクール」実践校。(1年生が被災地学習、白梅幼稚園との合同防災避難訓練)
- 2 保健組織活動の充実
 - ・学校保健委員会における生徒研究発表。
 - ・保健委員によるクリーン大作戦(行事前)。
 - ・環境衛生検査の継続。

～15:21

ウ 学校評価結果について 【副校長】

15:22～

- 1 「分析1」全体的な傾向について
 - ・今年度も昨年度とほぼ同じ傾向を示した。
 - ・肯定的な評価 75%の項目が多い。
 - ・学習と進路に関わる項目で低めの評価がある。
- 2 「分析2」 評価が高かった項目、改善した項目について
 - ・「生徒会・部活動」については、三者ともに高い評価。生徒は意欲的に活動しており、保護者の関心も高い。
 - ・「学習環境の保持」は、非常に綺麗に校舎を使っている。
 - ・「学校徴収金の額」は、適正な金額であり今年度も高評価。
 - ・「地域への貢献」は、近隣の幼小中との積極的な連携、積極的なボランティア参加、施設等への訪問演奏等評価が高い。
 - ・「二高へ入学してよかった」は、今年度も保護者から高評価。
- 3 「分析3」 評価が低かった項目、評価が分かれた項目について
 - ・「学習指導の徹底」について、家庭学習の定着がなかなか図れない。自学の大切さを指導。
 - ・「応用力が身につく授業」について、外部模試等ではなかなか点数が取れない状況がある。来年度から 50 分授業となる。「興味関心を持たせる授業」「教えて考えさせる授業」の充実を図る。
 - ・「勉強と部活動との両立」については、1年次から進路目標を意識させる指導やスマホ等の長時間使用の改善を図る必要がある。
 - ・「保護者と連携した進路指導」について、白梅メール等を活用し、こまめに情報提供をする必要がある。また、保護者の方々に学校に来ていただく手立てが必要と思われる。

～15:37

(4) 懇談

15:38～

【評議員】

- ・資料がわかりやすくまとめられており、高い意識を持って仕事に励んでいる姿が伝わってくる。
- ・学校計画の左下の数値目標は職員が何をどれくらい頑張ればいいのか良くわかる。
- ・部活動で、5つの部が全国大会出場は素晴らしい。指導のたまものと思う。
- ・学校評価の応用力のつく授業の実践では、学力差を考えれば、61%は立派である。
- ・部活動の休養日について、中学校では平日1日は休養日、活動時間は90分以内である。勤務時間等、高校はどのようになっているのか。

【副校長】

- ・勤務時間は、8:20～16:50、部活動は、平日は19時までで終了、勤務外となる。週1回は休養日、土日の部活動は午前か午後となっている。

【評議員】

- ・学校評価の教育目標の周知の生徒 83%は立派である。教育方針がわかりやすく説明されている。同じく、「二高に入学してよかった」の保護者 91%も立派である。
- ・授業を見学して、基礎基本を大切に指導されていて、学習環境がきれいでも整理整頓されていると感じた。
- ・家庭学習時間を増やすには、もっとスマホ等の時間を少なくすることが必要と思う。
- ・1年生の進路学習会の出席率 50%は普通か。

- ・センター試験の全員受験はいいと思う。

【進路指導課】

- ・進路が多様になってきているので、センター試験の全員受験の見直しを検討している。
- ・2年生が高いのは、土日の2日間開催したからである。もっと参加できるように検討する。

【評議員】

- ・寒さ対策等でスラックスの着用はないのか。
- ・毎日何名かの生徒さんの登下校を見ているが、特に問題になるようなところはありません。生徒達の態度も非常に良い。これは相当しっかり指導していると感じた。
- ・スマホの指導は、使用禁止にしてもだめ。正しい使い方を徹底した方がいい。

【副校長】

- ・本校には、スカートに違和感を感じている生徒もいる。制服検討委員会と本人、保護者と協議している。

【評議員】

- ・女子高が共学へと変わるなか「二高へ入学してよかった」と思っている割合が高いのは、卒業生として安心している。
- ・生徒指導件数が少なさに感心した。前に専門学校で教員をしていたが、二高生はとっても素直で品が良く、安心感があつた。
- ・家庭学習時間を増やすには、メール等を活用し保護者の協力を得ることが不可欠です。

【評議員】

- ・PTA総会を土日開催ではどうか。当日は部活動なしとして子と親が共に帰るような設定はどうか。
- ・先生方の勤務時間の軽減、ONとOFFを上手く切り替えるようにしなければならない。
- ・生徒の家庭での過ごし方や時間の活用について指導しなければならない。
- ・盛岡二高は、人気のある学校である。入試倍率が少し低い。

【副校長】

- ・近年、倍率は同じ程度です。

～16:24

(5) その他

○学校評議員退任者への記念品贈呈

(6) 開会のことば

16:28 終了